

ミニ文化祭 編みと織りの考古学

昨年の3月19日から4月13日まで「第5回足もとに眠る歴史展—編みと織りの考古学」と題しての展示会が東海大学でありました。見学したところ、大変感銘を受けたことから、企画担当した東海大学助手の宮原俊一氏に是非市民の方にも見ていただきたいとお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。

考古学は残された遺物・遺構から歴史を復元する学問です。その一つの方法に実験考古学があります。自らの手で道具を作り、再現することによって、古代の技術や暮らしがわかります。古代人がどのような道具と繊維を使い衣服を作ったか、ぜひ展示をごらん下さい。

期間：2008年 1月4日（金）～1月29日（火）

会場：博物館 2階情報コーナー展示ケース



東海大学での展示会のようす